

令和6年6月10日
 東日本高速道路株式会社

**国内初！ 大雪時の道路ネットワーク代替性確保に資する4車線化事業が、
 気候変動に適応する事業としてサステナビリティ・ファイナンスの第三者評価を取得
 ～7月、当社初のサステナビリティ・ボンド 500億円を発行予定～**

NEXCO東日本(東京都千代田区)は、本日、株式会社格付投資情報センター(R&I、東京都千代田区)からサステナビリティ・ファイナンスに関する第三者評価^{※1}を取得しました。4車線化事業が大雪に適応する事業としてサステナビリティ・ファイナンスの第三者評価を取得するのは国内初となります(当社調べ)。

サステナビリティ・ファイナンスとは、気候変動などの環境問題や社会的課題の解決に向けたプロジェクトに充当することを目的とした資金調達手段です。

当社は、令和元年6月以降、ソーシャル・ファイナンス^{※2}によって資金を調達し、道路建設事業等を通じて社会的課題の解決に取り組んできました。

当社が進める4車線化事業は、大雪や大雨によって車両の立ち往生やのり面の崩壊等が発生した際に4車線のうち2車線を対面通行として交通機能を確保することや、並行する一般道が通行止めになった際の代替路として機能します。この点が環境問題の解決に資すると認められ、新たにR&Iからの第三者評価を取得しました(下表参照)。本年7月には、当社初のサステナビリティ・ボンド(環境及び社会貢献債)500億円を発行します。

NEXCO東日本は、調達した資金を活用して社会的・環境的課題の解決に取り組み、高速道路事業を通じて持続可能な社会の実現を目指します。

※1 ICMA(国際資本市場協会:International Capital Market Association)が定めるサステナビリティボンドガイドライン等に適合している旨の評価

※2 調達資金の用途が、社会的課題の解決に資するもの



雪による本線での立ち往生



雨によるのり面の崩落



4車線化事業

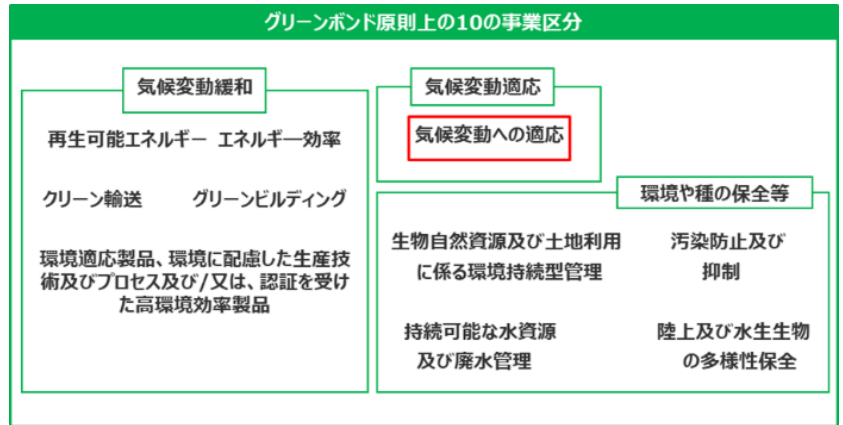
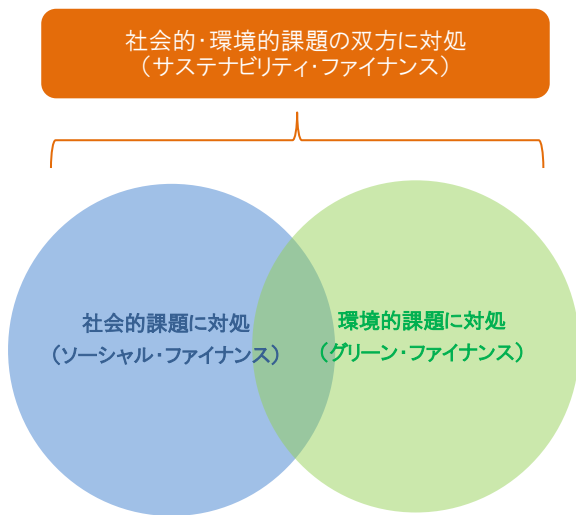
立ち往生や土砂災害による道路ネットワーク寸断を防止することを目的とした事業(気候変動への適応)

●気候変動への適応事業(グリーンプロジェクト)に該当するとの第三者評価を取得した事業(令和6年6月時点)

路線名	対象区間	環境的課題	路線名	対象区間	環境的課題
道東道	占冠IC～トナムIC	大雪時のネットワーク代替性確保	磐越道	三川IC～安田IC	大雪及び大雨時のネットワーク代替性確保
	トナムIC～十勝清水IC	大雨時のネットワーク代替性確保		会津坂下IC～西会津IC	大雪時のネットワーク代替性確保
秋田道	北上西IC～湯田IC	大雪時のネットワーク代替性確保		西会津IC～津川IC	大雪時のネットワーク代替性確保

【サステナビリティ・ファイナンスについて】

<https://www.e-nexco.co.jp/ir/sustainability/>

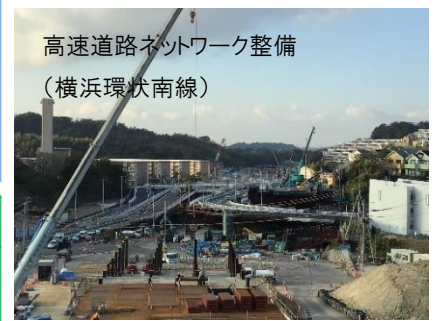


出所:ICMA資料より、NEXCO東日本作成

サステナビリティ・ファイナンスの枠組みで調達した資金は、以下のプロジェクトに充当

適格プロジェクト	ソーシャルプロジェクト概要	SBP※の事業区分	対象となる人々
高速道路の新設・改築	<ul style="list-style-type: none"> ●地方圏の産業・観光投資を誘発する都市・地域づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・管内高速道路ネットワーク整備 ・管内4車線化の整備による高速道路機能強化 ・付加車線事業による円滑な交通確保 	手ごろな価格の基本的インフラ設備	一般の人々（災害発生時にはその中でも特に「自然災害の罹災者を含む弱者グループ」が対象）
高速道路の修繕・災害復旧	<ul style="list-style-type: none"> ●切迫する巨大地震・津波や激甚化する気象災害へのリスク軽減 <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の速やかな高速道路機能回復のための耐震補強推進 ・4車線化等によるリダンダンシーの強化 ●交通安全の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・逆走防止対策 ・暫定2車線区間の正面衝突事故防止対策(センターブロック等) ●環境保全の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路ネットワーク整備による渋滞緩和効果に基づくCO2抑制 ・設備の省エネルギー化、盛土のり面の樹木形成、森林資源の有効活用によるCO2削減 ・事業に伴うエネルギー・物質のリサイクル 		
高速道路の特定更新	<ul style="list-style-type: none"> ●インフラの老朽化対策 <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路リニューアルプロジェクトの推進 		
高速道路の新設・改築	<ul style="list-style-type: none"> ●気候変動に適応した道路ネットワークの代替性確保 <ul style="list-style-type: none"> ・大雪時の積雪又は大雨によって発生した土砂災害による道路ネットワークの寸断を防止することを目的とした4車線化事業 		

これまでソーシャル・ファイナンスにより調達した事業の例



※SBP:ソーシャルボンド原則(Social Bond Principle)
 GBP:グリーンボンド原則(Green Bond Principle)